



平安神宮にて(東京都文京区立第九中学校4面に作文)

平成九年度を総括する
主張

理事長代行・専務理事 前田 寛

平成九年度の事業年度が間もなく終わる。平成九年は、年頭において橋本総理が、「行政改革」「経済構造改革」「金融システム改革」「社会保障改革」「財政構造改革」「教育改革」の六大改革を、火の玉となつて推進することを宣言し、國民が「今年こそは」と大きな期待をもつて迎えた年であった。そしてそれぞれの部門で、学識経験者や国会議員をメンバーとする審議会が構成され、審議の重ねることほぼ一年、改革の

平安神宮にて(東京都文京区立第九中学校4面に作文)

人発足四十周年次にふさわしい

平成九年度を総括する

理事長代行・専務理事 前田 寛

平成九年度の事業年度が間もなく終わる。

平成九年は、年頭において橋本総理が、「行政改革」「経済構造改革」「金融システム改革」「社会保障改革」「財政構造改革」「教育改革」の六大改革を、火の玉となつて推進することを宣言し、國民が「今年こそは」と大きな期待をもつて迎えた年であった。

そしてそれぞれの部門で、学識経験者や国会議員をメンバーとする審議会が構成され、審議の重ねることほぼ一年、改革の

総理に提出し、九月就任した町村新大臣も、このプログラムに基づく広範な取り組みと、平成十年度における着実な推進への意欲を表明している。

また昨年十一月十七日には、教育課程審議会が、初中教育の教育課程全体の改善の方向について、一年余にわたる検討の経過を中間まとめとして発表し、二十一世紀を見通した学校教育の在り方を問い合わせ基本的な方向が明示された。

これらの中間まとめは、全国の社会の中で全く異なる現状を示すものであるが、四十一年間の累計で二十三万名に達する見通しで、

活動への転換を急頭に置き、平成九

年度の諸活動を展開し、財團法

会が構成され、審議の重ねること

ほぼ一年、改革の

成果を収めつつ年度の終結に向かっている。その主な項目は次のとおりである。

一、修学旅行費等の国庫補助金

予算の中に計上され、修学旅行費については、昨年比3%増、要望額の九十八%、校外活動費については、昨年比2%増、要望額の九十七%を確保した。

二、第十二回修学旅行セミナー

九月十八日大阪市・たかつガーデンホールにて三百十名の学

校関係者を集め、シンポジウムとして小・中・高校の実践に基づく研究協議を深めた。

三、第十四回全国研究大会

十一月二十八日埼玉県浦和市民館にて四百名の学校関係者が参加して、主体性を伸ばし行動

修学旅行において航空機利用の許可範囲が広がりその頻度が高まっている。それに伴い安全で快適な空の旅を楽しむために必要な旅を守つてもらおうと、有識者、旅行業界、航空会社、運輸省航空局が参画して「航空機の非常脱出誘導に係る委員会」が一昨年に設置され、非常脱出時の旅客の負傷防止策および機内での安全確保のための方策が検討してきた。その結果、来る四月一日から「非

常口座席の運用」を実施する。常口座席の運用は、非常口座席に座った人に緊急脱出用にあわせて、客室の運用にさまざまな方策を実施することになった。

「非常口座席の運用とは、非常口に接した座席列のうち非常口を結ぶ通路に接する後方座席を言う。また飛行機は緊急脱出時には脱出シートの使用を想定し、通常非常口を結ぶ通路に接している。一刻も早い脱出と、シートを滑り降りる際の

室内安全について旅客の理解を得るためにさまざまな方策を実施することになった。

「非常口座席の運用では、非常口座席に接した座席列のうち非常口を結ぶ通路に接する後方座席を言う。また飛行機は緊急脱出時には脱出シートの使用を想定し、通常非常口を結ぶ通路に接する後方座席を言う。また飛行機は緊急脱出時には脱出シートを滑り降りる際の

室内安全について旅客の理解を得るためにさまざまな方策を実施することになった。

安全で快適な空のたび

春の旅行シーズンを迎えて

航空機の非常脱出誘導に係る委員会

常時使用できない機器

携帯電話

F Mラジオ

シーバー

テレビ

プリンタ

離着陸時に使用できない機器

AMラジオ

電子手帳

パソコン

ワープ

デオカメラ

タルカラマ

電卓

セッターテープ

CD

MDプレーヤー

常時使用できるもの

腕時計

小型カメラ

(デジタルカメラを除く)

緊急時ポスター

